

科目名	単位数	学年	必修・選択	備考
家庭総合	文系2 理系1	3	必須	

1 科目の概要・学習目標

(1) 生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

2 成績・評価・観点の割合

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な知識と、それらに係る技能を身に付けている。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を身に付けている。

3 使用教科書・副教材

- (1) 使用教科書：高等学校家庭総合 持続可能な未来をつくる（第一学習社）
- (2) 副教材：最新 家庭 生活ハンドブック（第一学習社）

4 授業展開

- (1) 一斉授業（40名程度）
- (2) 授業内容（授業内容は変更する場合もある）

	1学期				2学期					3学期		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
授業内容	●経済生活をつくる		●住生活 ●高齢者			●次世代をはぐくむ 製菓・おもちゃ制作			●防災 ●消費者		マナー	

5 学習方法・学習のポイント

- (1) ホームプロジェクトや学校家庭クラブ活動を積極的に実践する。
- (2) 体験的な学習では、様々な人と協働しよりよい社会の構築に向けて考え、しっかりと発表できるようにする。